

彼方 【かなた】

校長通信

H31.1.18

Vol.30

【言葉は言霊】

今年一年を占ってみましょう！

「雪」「雲」「太陽」「地球」「宇宙」の5つの言葉の中から、ピンとくる言葉を一つ選んでみてください。さて、今年一年のあなたの運勢やいかに？

お正月にあるHPで楽しいおみくじに出会いましょう。実際には5つの言葉からひとつクリックするとその言葉に対するコメントが出てくるものです。はじめの方は、きつとひとつ選んでクリックしてその言葉を心に刻んで自分を勇気づけるとありますが、私は全部クリックしちゃいました(笑)するとどの言葉を選んでも「よーっし！」っていう感じになるコメントが入っていました。実際のおみくじでは大吉もあれば凶もあり、コメントも様々です。でもこのおみくじは、どれもOK！という勇気をもらえるのです。そしてそのおみくじの最後に例え話が載っています。占いは好きでどんな占いも信じちゃうOLのA子さんのお話でした。「今日の運勢はよくないですね。一日おとなしくしててください。」と占い師に言われた場合と、「あなたにとって、今日は最高の日です。今日、起きる出来事は、あなたの人生にとって、素晴らしい意味を持っています。なにげない出来事ですらも、あなたの将来にとってもいい影響をもたらす可能性があるでしょう。」と言われた場合で、帰りの満員電車の出来事をどんな風にとらえるかというお話でした。その出来事とは、A子さん

は仕事が終わって、帰宅するために電車に乗りました。夕方なのに、車内は混んでいて座席が空いていませんでした。さらに電車が急発進したために隣の男性に足を踏まれてしまうというものでした。前者のAさんは、「やっぱイヤなことが起きた」と思っている。暗い気持ちになりました。後者のAさんは：。なんと足を踏まれた隣の男性と笑顔で会話をするといい結果でした。その文中に「言葉には力があります。前向き・肯定的な言葉を信じれば、人生は前向き・肯定的に展開し始めます。」という一文がありました。なるほど！

子供達は一日に二十回、自分の意思にかかわらず自然にネガティブな言葉が耳に入ってきます。その回数、二十歳までに十四万六千回にもなります。これによってメンタルブロックという心の壁が作られます。そして「もう無理」「どうせダメ」というようなネガティブな気持ちが潜在意識の中に作られ、前向きな行動が取りにくくなると言われています。そのことが、自分を守ってくれる場合もありますが、より自分を高めることに挑戦しなくなることも多いのです。それを軽減させるためには、ポジティブな言葉や自分の良さを意識できる前向きな言葉を同じように浴びせていけばよいのです。言葉は「言霊」です！力を持っています！どんな言葉で伝えるかで結果が全く違ってきます！

中学生になると、指示命令だけではなかなか上手くいきません。小さい頃は親の言うことをよく聞いていたのが、自我も目覚め、メンタルブロックが作られることで言うことも聞かなくなり、生意気にな

ってきます。いわゆる反抗期です。それに伴って自己肯定感や自己有用感も低くなってしまいます。でも、それは、言われるがままではなく、自分で考えて、適切に行動するための判断基準を養う準備期間でもあります。それができなければ自分のキャリアなど作っていけないからです。小学校と中学校の決定的な違いが出口にあるのはそのためだと思います。公立中学校では、全員が三年後に自分の進むべき道を選択・決定し、実現していかなければなりません。そのとき、自分で何をすればよいか、どう決めたらよいかわからないままでは、世の中に出ていくことはできないのです。

白山中学校の学校教育目標は、「みがき合い・支え合う、心豊かでたくましく生きる生徒をめざす」です。他者との関わり方を学び、社会性を身に付けていく中で、心を豊かにし、学力を向上させ、体力をつけて、自身の未来と社会の未来を切り開いていく生徒を育成する学校です。保護者の皆さんと一緒に前向きな言葉かけを心がけ、自己決定できるように「あーしろ、こーしろ」ではなく、「どうしたいか」を聞きながら、自分から動き出せるようにサポートしていきたいと思えます。

四月に入学されるのを心よりお待ちしております。

